

渡邊 順生

チェンバロ・フォルテピアノ リサイタル

～2016年度レコード・アカデミー賞受賞記念～

わが国を代表するチェンバロ・フォルテピアノ奏者兼指揮者の渡邊順生さんは、一橋大学から生まれた“奇跡”ともいべき音楽家。バッハの名演奏に対し2010年度サントリー音楽賞のほか、昨年発表したCD『フレスコバルディ／フローベルガー：チェンバロ作品集』で2度目のレコード・アカデミー賞を受賞。それを記念する2回にわたるサロン・コンサート。イタリアとドイツの初期バロックからモーツァルトまで、銘機の典雅な響きと共にお楽しみ下さい。



Vol. 1

チェンバロ・リサイタル

10月1日(日) 午後2時開演(1時15分開場)

～音色も外見も全く異なる

2台のチェンバロを用いて～

- フレスコバルディ：トッカータ 第2巻 第7番 二短調
5つのガリヤルダ
パッサカリアによる100のバルティータ
- フローベルガー：トッカータ 第18番 へ長調
組曲 第20番 二長調『来たるべき我が死に寄せて』
フェルディナント三世のトンボー
- D・スカルラッティ：2つのソナタ
J・S・バッハ：バルティータ 第2番 八短調 BWV826 ほか
- 使用楽器：1段鍵盤イタリア・モデル(柴田雄康 作、1995)
2段鍵盤フランス・モデル(M・スコヴロネック 作、1990)

Vol. 2

フォルテピアノ・リサイタル

12月3日(日) 午後2時開演(1時15分開場)

～モーツァルト時代の楽器の妙なる響き～

- ソナタ 八長調 K.330
ソナタ イ長調『トルコ行進曲付き』K.331
ソナタ へ長調 K.332
ロンド 二長調 K.485
アダージョ 口短調 K.540

使用楽器：フェルディナント・ホフマン、ウィーン、1790頃

会場 一橋大学佐野書院 (JR国立駅南口徒歩10分・会場は裏面の略図参照)

入場料 1回券 3,000円〔全席自由〕
2公演セット券 5,000円〔全席自由〕(50セット限定)

●チケットのお申込み●

I. 公式ホームページからのお申込み <http://www.josuikai.net/circle/josuiconcert/>

II. FAXまたは電話でのお申込み／お問い合わせ

FAX **042-481-2510** (このチラシの裏面をご利用下さい) TEL **090-8495-4582** (主催者事務局)

III. 国立市内販売店 「白十字」南口店 (☎ 042-572-0416)

◆各回とも限定90席につき、お早目のお申込みをお奨めいたします。



お名前		TEL		FAX	
ご住所	〒				
E-mail					
お申込み内容	1回券		2回セット券		
	<input type="checkbox"/> 10月1日(日) _____ 枚	<input type="checkbox"/> 12月3日(日) _____ 枚	_____ セット		
<input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。					

ビジネスの世界で活躍している卒業生の多い一橋大学だが、内外のステージで活躍する二人の異色の音楽家がいる。一人はコントラバス奏者の河原泰則さん(1973年商学部卒、'77年ベルリン芸術大学首席卒、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位入賞、'80~2011年ケルン放送交響楽団首席コントラバス奏者、ミュンヘン国際音楽コンクール審査委員長)。

もう一人が渡邊順生さん(1973年社会学部卒)。幼少からピアノを学んでいたが、銀行マンの父上から「音楽は男子一生の仕事にあらず」と言われて已むなく一橋に入ったとのこと。折しも、全国的な大学紛争で授業は殆どなく、チェンバロに没頭。卒業後直ちにアムステルダム音楽院に留学し、巨匠レオンハルトに師事。首席卒業はもとより「プリ・デクセランス」を受賞。オランダの教育課程で数年に一度しか授与されないといつもない賞である。

'80年に帰国以来、古楽器演奏の啓蒙と普及に努め、精力的に活躍。2005年に始まった「くにたち兼松講堂 音楽の森コンサート(=兼松講堂如水コンサート)」にも指揮者・古楽器奏者として度々ご出演をお願いし今日に至っている。

とりわけ、『バッハ/ヨハネ受難曲』(2010.5)、『モンテヴェルディ/ポッペアの戴冠』(2011.11)、『モンテヴェルディ/聖母マリアの夕べの祈り』(2014.10)、『ヘンデル/メサイア』(2015.11)の大規模声楽曲やオペラは聴衆にとっても忘れ難い名演である。

ボランティアチーム如水コンサート企画

渡邊順生 Yoshio Watanabe



チェンバロ、クラヴィコード、フォルテピアノ奏者、指揮者として活躍。論文執筆や楽譜校訂も手がける。2010年度サントリー音楽賞受賞。アムステルダム音楽院にてソリスト・ディプロマ及びプリ・デクセランスを取得。グスタフ・レオンハルトらにチェンバロを師事。ブリュッヘン、ビルスマ、エルウィス、エグモント等、欧米の名手・名歌手たちと多数共演。ソニー、創美企画、コジマ録音、セシル・レコードより多数のCDをリリース。

『モーツァルト：フォルテピアノ・デュオ』[共演：崎川晶子](コジマ録音、2006)及び『フレスコバルディ/フローベルガー：チェンバロ作品集』(コジマ録音、2016)でレコード・アカデミー賞受賞。著書『チェンバロ・フォルテピアノ』(東京書籍、第3刷2009)で好評を博す。『バッハ・古楽・チェロ~アンナー・ビルスマは語る~』(アルテス・パブリッシング、2016)もまた新聞・雑誌等で絶賛されている。上野学園大学客員教授、東京音楽大学、桐朋学園大学講師。

